

「いつ」「どうやって」逃げるのかー洪水・土砂災害編

洪水・水害が発生すると、あふれた水は道路などを流れて、平野部が浸水します。少しの深さの水位でも、流れがあると、そこを歩くことができなくなります。また、水に浸かっている場所では地面が見えなくなり、用水路やマンホールのふたが開いている場所などでは非常に危険になります。

「いつ」逃げるのか

「どうやって」逃げるのか

気象情報と雨の降り方に注意しましょう

警報・注意報発表基準一覧表

種類	雨量基準	土壌雨量指数	流域雨量指数
警報	大雨	平地 3時間雨量110mm 平地以外 1時間雨量60mm	135
	洪水	※平地:3時間雨量90mmかつ 流域雨量指数狩野川流域=25	深沢川流域=12
注意報	大雨	平地 3時間雨量60mm 平地以外 1時間雨量30mm	81
	洪水	※平地:3時間雨量40mmかつ 流域雨量指数狩野川流域=25	深沢川流域=10

記録的短時間大雨情報 110mm
※複合基準は洪水警報および洪水注意報のみに適用されます。 出典:静岡地方気象台 平成22年5月27日現在

雨の強さと降り方

1時間雨量(mm)	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
	10以上~20未満	20以上~30未満	30以上~50未満	50以上~80未満	80以上
人の受けるイメージ	ザーザーと降る。	どしゃ降り。	バケツをひっくり返したように降る。	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)。	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。

避難情報を 聞いたら逃げましょう

避難準備情報

避難の準備を始めましょう

避難の準備を整え、ラジオやテレビの情報に十分注意してください。
要配慮者※の方は避難を開始してください。

※高齢者や乳幼児、障がい者、傷病者、外国人、妊産婦など、災害発生時に特に配慮が必要な人たちに「要配慮者」といいます。

避難勧告

避難を始めましょう

要配慮者以外の方も**避難を開始**してください。
要配慮者の方は避難を完了させてください。

避難指示

ただちに避難してください!!

危険が迫っています。
一刻も早く**避難を完了**してください。

避難情報はテレビ、ラジオ等を通じて市民のみなさんに伝えられます
防災行政無線、広報車、サイレン、携帯電話緊急速報メール、市のホームページなど

次の点に注意し安全な避難を心がけましょう

避難時の危険箇所

路上には、いろいろな危険が潜んでいます。注意すべき場所を日頃から確認しておきましょう。

水路の周辺

水路にはガードレールの柵がない場合があります。浸水時には、水路の場所が判らず誤って流される危険があります。

土砂災害危険箇所

「がけ」は、大雨が降ると崩れる恐れがあるため、大雨時に近づくのは危険です。また「がけ」の近くに住宅がある場合には、早めの避難を心がけましょう。

屋内での避難

浸水が始まり、外に出ることが危険と感じた場合は、自宅や近くの建物の2階以上に避難し、水が引くのを待ちましょう

最新の情報と周囲の状況から、今しかないと判断したときが逃げるときです。助かると思う場所は、どこでも逃げ場所です。

上記のほか、台風情報、雷や竜巻などの情報、河川の水位情報などにも注意しましょう。

Column 特別警報とは

特別警報とは、**警報の発表基準をはるかに超える**豪雨や大津波等が予想され、重大な災害の危険性が著しく高まっている場合に発表されるもので、最大限の警戒を呼び掛けます。「東日本大震災」における大津波や、「伊勢湾台風」の高潮が該当します。特別警報が出た場合、お住まいの地域は数十年に一度しかないような非常に危険な状況にあります。ただちに命を守るための行動をとってください。

Column 土砂災害警戒情報とは

土砂災害警戒情報とは、静岡県と静岡地方気象台が、住民の早期避難を促進し、土砂災害による人的被害を未然に防ぐため共同で発表する防災情報(気象業務法第11条に基づいた大雨警報を解説する情報)です。

水害時の情報伝達方法

水害に関する防災情報は各機関から以下のような経路で伝達されます。市民の皆さんは、テレビ・ラジオ・インターネットなどを活用して情報収集を行い災害に備えてください。

